仙北組合総合病院 だより

発行月日　平成24年4月16日
発行責任者　後　藤　伸　一
No.13

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。

ごあいさつ

仙北組合総合病院
内　科　茂　木　睦　仁

こんにちは、内科の茂木睦仁です。今年初めての病院だよりです。昨年は、３月に東日本大震災があり、それ以降は特別な一年でした。今年は年初からいきなり昨季の冬にも増して豪雪で、長いトンネルをくぐるような日々でしたが、やっと明るい気持ちになっていい季節になりつつあります。

さて、私の診療科目について紹介いたします。内科の病気のうち、血液病、腎臓病、リウマチ・膠原病などで、一般に多くみられる病気ではありませんが、これらには症状が全身性にあらわれ、慢性に経過し、ときに再発や悪化がみられるいわゆる難病やそれに近い病気が含まれます。そのため、長期の通院または入院治療が必要になり、精神的、体力的、経済的負担が重くなっていく場合があります。治療を行なうにあたり、仕事や家庭生活に支障をきたすことがあるので、ご自分の病気がいまどのような状態にあるのか、どのように治療する必要があるかを説明させていただき、またご理解が得られるようにしています。
そして、生活スタイルに合わせた治療を私たちと一緒に考え、相談しながら進めていくことができればと思っています。

とはいうものの、病気の性質上、良くなったという実感があまりないために、途中で治療に対する意欲がわかなくなることもあるかもしれません。最近、分子標的薬やバイオ製剤などに代表される、一部の血液がんやリウマチ・膠原病などの病気に対して非常に効果のある新薬が使われるようになり、治癒に至らないまでも病気をする前と同じ生活が送れるようになることも多くなりました。同様に、いままでは治りにくいとされた病気が新しい薬や治療法の開発により治る病気になることもありますので、じっくりと腰を据えて治療を受けてほしいと思います。

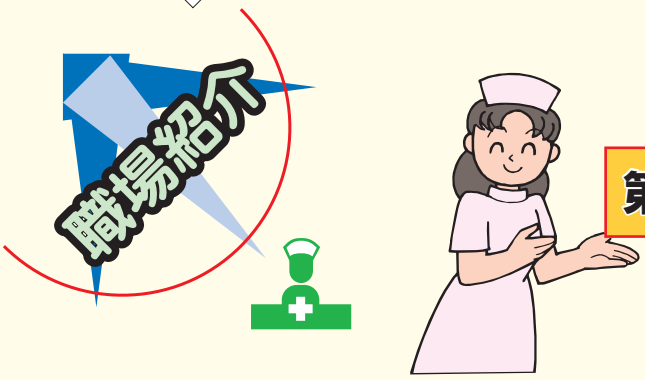
春に向かい、日の光は少しずつ力強くなってきました。春の次は（暑い？）夏です。移りゆく季節の中で自身の病気にあまり悩まずに済み、穏やかな時間を過ごすことができるようにいくばくかでもお手伝いできれば幸いです。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
仙北組合総合病院
秋田県大仙市大曲通町1番30号
TEL 0187－63－2111
FAX 0187－63－5406
ホームページ
URL http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp



「心のこもった看護」で頑張っています

第15病棟

こんにちは、15病棟です。私達の病棟は、産婦人科・外科中心の混合病棟です。新館とも呼ばれている東棟の5階に位置しています。医師3名、助産師12名、看護師9名、看護助手1名、事務1名、クラーク1名で日々頑張っております。

当科は、出産から人生最後の場面まで関わりますので、女性の一生涯に関わりを持つ病棟といえるでしょう。産婦人科中心の病棟ではありますが、外科・消化器・呼吸器外科・内科など様々な科も入り入退院の激しい病棟です。患者様の年齢は、0歳のベビーから100歳の患者様など様々です。そのため患者様の年齢差が最高の部署でもあります。また患者様は全員女性なので、トイレは女性用しかありませんし、他科にはない分娩室や新生児室などがあります。御面会に来られる男性といえば、ほとんどが父親か旦那様となります。病衣を着てうろうろしている男性がいるとすれば、大抵が間違ってきた方となります。大切な赤ちゃんをお預かりしていますので、セキュリティーの面でも十分気をつけております。

少子高齢化社会で、当院も出産件数は減少傾向にあり、出産年齢は高齢化にあります。合併症を持つ症例が多く、チーム医療の果たす役割は非常に大きく、ますます専門性が求められる時代となってきています。患者様は、色々な不安を持ちながら入院されてきます。その不安を一つ一つ解決し出産を迎えた時の喜びは計りしえないものがあり「おめでとうございます」と言える喜びを感じる科でもあります。

患者様にとって何が一番よいのかをみんなで話し合い「心のこもった看護」が提供できるよう頑張っております。

今後も15病棟をどうぞよろしくお願い致します。

こんにちは第16病棟です

皆さんこんにちは。私たち 16 病棟（新館 6 階）は病床数 29 床で未熟児室４床、ドック室 3 床を含む小児科を中心とした病棟です。勤務者は小児科医師3名、看護師19名、看護助手１名、病棟担当事務１名、クラーク１名で構成されています。

小児科は生まれたばかりの赤ちゃんから 14 歳までの子供たちが入院します。疾患分野はさまざまで小児科、外科、整形外科、耳鼻科、脳神経外科、泌尿器科とバラエティーにとんでいます。小児科の入院患者はその季節で特徴があり、たとえば冬期間は感染症の流行に伴い、入院する子どもの数が変動します。また夏休みや冬休みなどの長期休みには手術を目的に入院する子供たちが多くなります。入院期間も１週間以内と短く、回復の早さを目のあたりに感じながら看護しています。

季節に合わせた病棟行事も小児科の特徴の一つです。節分やひな祭り、節句、七夕、クリスマスなどその都度病棟の壁の模様や絵が変わり、楽しい雰囲気を味わえます。ちなみに昨年のクリスマスは医師がサンタさんに扮装しプレゼントを子供たちに配ったり、某医師がバイオリンを弾き生の演奏をしてくれました。少しでも入院生活を楽しく感じてもらえるよう企画し行っていますので是非一度見に来てください。

子供たちにとって病気になる、入院すると言ったことは、点滴を 24 時間され、行動も制限されるため大変苦痛なことです。入院している子供だけでなく、親も一緒に病気と闘っているという思いを受け止め私たちは看護しています。小さいことですが、体を拭いたり検温など多くの日常的なケアを子供が寝ていれば起きてから、ミルク中であれば落ち着いてから、採血も子供が決心つくまで待つなど子供のペースに合わせるようにしています。そしてお母さんとのコミュニケーションを大切にし、退院後も安心して生活が送れるよう一人一人の病状に合わせ対応するようにしています。

病棟のモットーは笑顔の絶えない明るい病棟。患者様に寄り添った看護の提供です。

これからも皆様に愛される病棟を目指し皆んなで努力していきたいと考えております。

れんけい室タイムズ 「Face to Face」 Vol 7

1 室長あいさつ

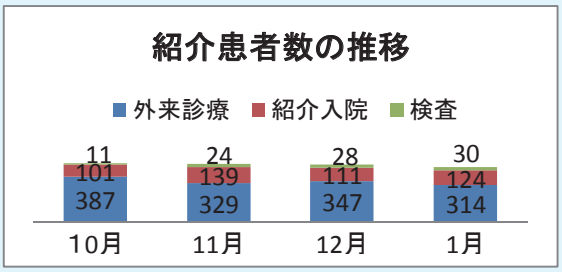
『脳卒中連携について』

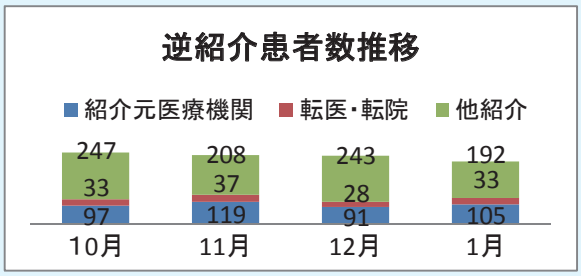
佐々木　順　孝

新年を迎えたと思ったら、時間の経つのは、早いもので、あっという間に４月になりました。今年も昨年に劣らず大雪でしたが、日一日と暖かくなり木々が芽吹く季節となりました。

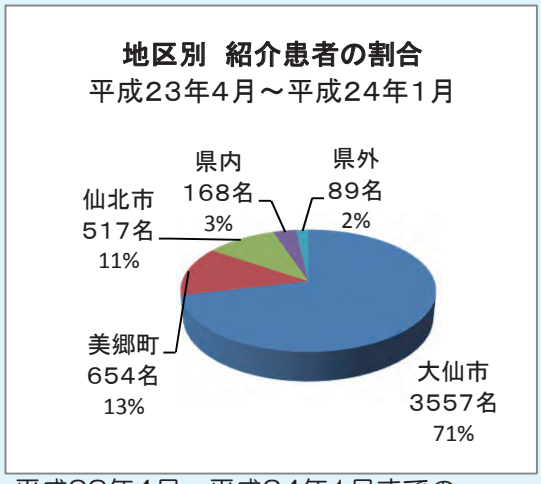
さて、県南地域のシームレスな脳卒中連携を目的として秋田道沿線連携協議会が立ち上げられてから２年あまりが経過しました。問題点として、適用率、維持期施設との連携、ＩＴ化などが上げられます。適用率は、リハビリテーションセンター側の回復期病床数や、適用基準にも左右されています。維持期施設、とりわけ開業医の先生には多数参加いただいていますが、現時点での参加のメリットが少なく、実際患者さんも、リハセンの外来や、当院の外来に通院することが多くなっています。IT 化に関しては、現時点で、地域間のイントラネットの構築が、経済的にも物理的にも困難と考えられています。しかしながら、仙北・大曲地区二次医療圏の地域医療再生計画の一環としても、連携パスが奨励されており、よりいいものにすべく検討中です。

2 平成 23 年度　月別紹介患者数・逆紹介患者数の推移

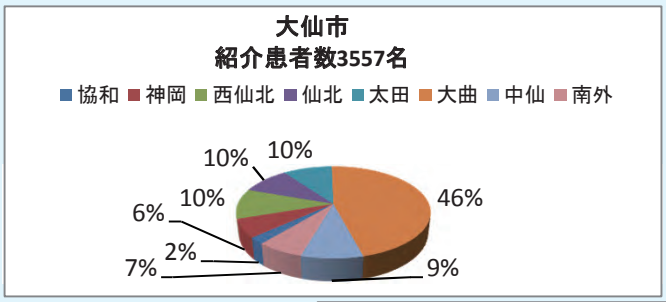


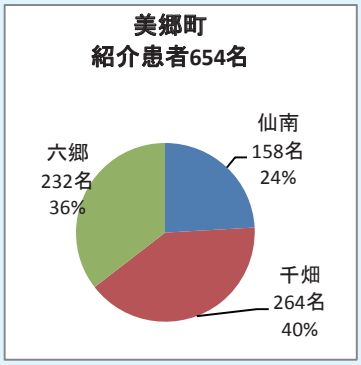


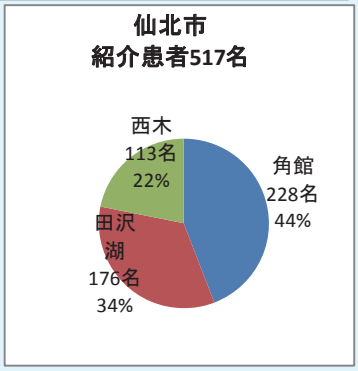
平成23年10月～平成24年1月の紹介患者数・逆紹介患者数の推移です。
逆紹介については紹介元医療機関への患者数はおよそ30%、となっています。



平成23年4月～平成24年1月までの
紹介患者の割合を地区別に調べました。







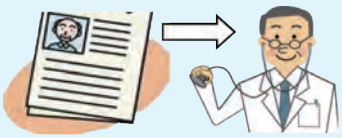
大仙市・美郷町・仙北市　各地区の内訳です。

3 セカンドオピニオンについて

医療分野では、患者さんが検査や治療を受けるにあたって、よりよい決断をするために、主治医以外の専門的な知識を持った医師に求める“意見”のことをいいます。

では、セカンドオピニオンを求めるためには、どのような手順を踏んだらいいのでしょうか？

まず、はじめに、セカンドオピニオンを求めたいと、主治医に相談してみましょう！
主治医は、患者さんの気持ちを理解してくれますから、遠慮せずに申し出て下さい。
主治医から、診療情報提供書を作成してもらう必要があります。
これは、治療経過や病状の推移などが書かれており、他の医師の意見を求める際、とても重要なものとなります。
他の医療機関をただ受診してしまうと、新たに検査を行うことになったり、病状の判断まで時間がかかったりします。
ぜひ、充分な資料を準備して、他の医師の意見を求めるようにしてください。
より良い形で、セカンドオピニオンを求めてもらえればと思います。



基本的に、セカンドオピニオンは「診療」ではなく「相談」となるため、外来は、自費診療となります。
他の医療機関の連携室を通じて、セカンドオピニオン外来を予約することも可能です。
ぜひ、連携室にご相談ください。

トピックス

『鼻出血』

耳鼻咽喉科診療部長　横　溝　道　範

耳鼻科に他科の先生方から御紹介を頂いたり救急外来で遭遇する疾患の代表的な疾患に「鼻出血」があげられます。突然起こり、繰り返して起こることも多く、心配させられたことは誰でもあるのではないでしょうか？
アレルギー性鼻炎の治療で鼻出血が落ち着く子供は、結構多いです。成人の場合は、血圧の上昇が最大の原因ですが、脳からの出血を防ぐために、鼻からの出血で血圧を下げる役目もあるといわれており、血圧のコントロールが重要になります。
鼻出血の処置は、出血側の小鼻を指で押さえて、数分待つことで、大多数は止血できます。左右の鼻のしきり（鼻中隔）の入り口から１cmのところは、「キーゼルバッハ部位」と呼ばれ、血管が網の目状に集まっているため、大多数の鼻出血の原因になる部位です。圧迫止血は、この鼻中隔を押さえるような方向で押さえます。出血した部位を心臓より高くすると止まりやすいため、できれば座った状態とし、のどに落ちてくる血液は、飲み込まずに口から出してください。顔は、ややかがんで、下向きにしてください。洗面器などを受け皿にして、周囲が汚れにくいようにしてください。座っていられない場合は、仰向けにならずに出血側を下にして、横向きになって、飲み込まないようにしてください。ワーファリン等の抗凝固剤を内服している方や、10～15分しても止血されない場合は、耳鼻科を受診してください。

かかりつけ医（ホームドクター）を持ちましょう!

あなたやご家族の健康管理について、何でも相談できるかかりつけ医（ホームドクター）がいると安心です。専門的な検査、治療が必要な時には適切な病院・診療科を紹介してくれます。

【地域医療連携室へのお問い合わせ】

ＴＥＬ：**0187−63−2111**（内線2104）
ＦＡＸ：**0187−63−0004**（専用FAX）
平　日：**8：30～16：30**

ためになる話

食生活改善計画

現代は食べたいものをいつでもどこでも食べられる便利で豊かな時代といわれますが、その一方で食をめぐる様々な問題があります。ごはん等炭水化物の摂りすぎや野菜不足、栄養の偏った食生活…これらは現代人がつい陥りがちな献立の傾向です。

【見直してみようご飯の量】

ご飯の量は基本一食150gで普通サイズの茶碗に軽くよそったくらいです。たくさん食べているつもりがなくても、意外に量が多いことがあるので一度いつも使っている茶碗に 150ｇのご飯を計量し、その分量を覚えていつも同じ量を食べるようにしましょう。その量が足りないと感じたらご飯に雑穀や芋類などを加えると食べごたえと栄養素がアップします。

【もっと食べようお野菜】

気をつけているつもりでも、不足しがちなのが野菜類です。野菜は 350ｇが一日分の適量。このうち半量は緑黄色野菜にします。目安としては白菜大きな葉一枚が 100g、緑黄色野菜のトマトは半分で 100g です。野菜 350g を上手に食べるにはメインのおかずや汁物にも積極的に野菜を取り入れることが大切です。

【これからは気を付けるお肉の量】

肉や魚はつい多く食べてしまいがちですが、これらの食べ過ぎはエネルギーの過剰摂取につながります。また、肉に偏ることなく、魚介や大豆製品を一日の中でバランスよく食べることも大切です。

【食べてほしい乳製品】

そして日本人に不足しがちなカルシウムを豊富に含む乳・乳製品は、しっかりと摂取して欲しいもの。しかし、意外ととり忘れてしまうことが多い食品でもあります。チーズは調理しなくてもそのまま食べられる手軽な食品です。普段乳製品を食べる習慣のない方でもこれを機に試して下さい。

あなたにも心当たりのある項目がありましたでしょうか。健康的な食生活を送るためにはこれらの食品をバランスよく食べることが大切です。野菜が不足しがちだと思ったらいつもの食事にもう一品、野菜が主に使われている品を加えてみる、お肉を多く食べていると感じたら代わりに魚介や大豆製品を食べる等簡単なことから、今までの食生活を見直してみてはいかがでしょうか。

診療案内　外来診察医一覧

《土・日曜日と祝祭日は全科休診です》
◎は新患担当。
平成２４年４月２日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間
内科１診	－	－	－	－	－	
内科２診	◎ 山口	佐々木	◎ 三田 PM・進藤（呼吸器）	◎ 山口	◎ 志田	8:30～11:30
内科３診	◎ 仁村	◎ 茂木	◎ 仁村	◎ 茂木	◎ 仁村	
内科４診（専門外来）	腎外来 富樫	糖尿病外来 森井	－	腎外来 小松田	糖尿病外来 吉越	
循環器科１	加藤	荒川	池田	加藤	荒川	8:30～11:30
循環器科２	池田	加藤	秋田大学	佐々木	秋田大学	
循環器科３	－	呼吸器内科 （秋田大学）12:30から	心臓血管外科 第1・第3・第5	－	呼吸器内科 （秋田大学）11:30まで	心臓血管外科 8:30～11:30
消化器科１診	◎ 五十嵐	◎ 伊藤	◎ 五十嵐	◎ 沖口	◎ 五十嵐	8:30～11:30
消化器科２診	伊藤	－	伊藤	五十嵐 9:00～11:00	沖口 10:30まで 中島 10:30から	
神経内科	－	－	－	－	菅原 13:00から	予約制 12:00～16:00
小児科１診	五十嵐	深谷	五十嵐	矢野	五十嵐	8:30～11:30
小児科２診	大村	小山	小山 ☆心臓外来（秋田大学）	大村	大村	☆第1・第3水曜日 13:30～
外科	小野	大村	平賀	山村	佐藤	8:30～11:30
呼吸器科１診	中川	－	中川	－	中川	月曜8:30～10:30 水・金曜8:30～11:00
泌尿器科１診	熊澤	熊澤	神崎	熊澤	熊澤	月・金曜 8:30～11:00
泌尿器科２診	神崎	伊藤	伊藤	神崎	伊藤	火・水・木曜 8:30～10:30
産婦人科（婦科）	山本	佐々木	山本	山本	佐々木	8:30～11:00
産婦人科（産科）	佐々木	菅原	佐々木	菅原	山本	
眼科	－	元山	－	元山	－	8:30～11:00
耳鼻咽喉科１診	垂石	垂石	高橋	垂石	高橋	8:30～11:00
耳鼻咽喉科２診	高橋	横溝	横溝	－	横溝	
整形外科１診	梅原	佐藤	梅原	高橋	梅原	8:30～11:00
整形外科２診	後藤	高橋	後藤	後藤	佐藤	
整形外科３診	板谷	日下	佐藤～日下	板谷～日下	板谷～高橋	
皮膚科	－	秋田大学	秋田大学	－	秋田大学	火・水・金曜 8:30～11:00
	新規の患者様は、他医院又は院内他科より紹介された方。 再来の患者様は、完全予約制とさせて頂きます。					
脳神経外科	佐々木	田村	佐々木	大前	佐々木	8:30～11:30
麻酔科	菅沼	大高	－	－	横山	月・火・金曜 8:30～11:00
放射線科	黒川	黒川	黒川	黒川	黒川	
歯科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木 口腔外科	鈴木	8:30～11:30 予約制
	新規患者様の受付は11時までとさせて頂きます。					

※手術等により担当医師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。